

# 多様な地域資源を活かした 北海道発イノベーションの 創出を目指して

要事前参加登録  
申し込み締め切り  
2024年10月17日(木)

特別講演

## 「スマート林業技術における産総研への期待」

北海道下川町 産業振興課林業振興グループ 林業振興係長 斎藤丈寛氏

## 「酪農のイノベーションって何かな?」

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 酪農試験場 場長 杉本昌仁氏

そのほか

- 一般講演 6 件、機関活動紹介
- ポスターセッション30件程度掲示

開催趣旨

地域経済は、少子高齢化の進展に伴う労働力人口の減少や経済のグローバル化などによりかつてない厳しい環境に直面しています。地域の持続可能な発展を実現するためには、地域発のイノベーション創出が必要不可欠です。国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)は、全国に展開する研究拠点のリソースと研究成果を活用し、オープンイノベーションハブとして積極的な地域連携を推進しています。特に北海道センターでは、「第一次産業の高度化を核とした農商工連携イノベーションの推進」をミッションに掲げ、北海道の第一次産業における課題解決を中心として、地域課題の解決によるイノベーション創出に貢献すべく、オール産総研の技術シーズを活用し、道内外の第一次産業関連企業、農業関連研究機関、大学等との連携を展開しています。

北海道釧路市・根室市を中心とする釧路根室圏(根釧地域)は国内でも有数の酪農業・水産業の拠点であり、林業・林産業は開拓時から現代まで続く地域産業の一つとなっています。また、手付かずの自然が残るラムサール条約登録湿地・釧路湿原を中心とする釧路湿原国立公園、マリモが眠る阿寒湖を含む阿寒摩周国立公園、世界遺産の知床半島などを有する魅力あふれるエリアです。そこで、根釧地域の農林水産業と関係が深い産総研の技術シーズを紹介し、企業、大学、研究機関等との連携を促すことにより農商工連携イノベーションを推進し、更には、全道、全国への展開を目指すべく「産総研北海道センターシンポジウムin釧路」を開催いたします。

2024年10月25日(金) ANAクラウンプラザホテル釧路  
13:00~17:15(受付開始12:30) ☎ 085-0016 北海道釧路市錦町3-7

主催 国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター

後援 経済産業省北海道経済産業局、北海道、北海道経済連合会、釧路市、下川町、公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター、くしき木づなフェスティバル実行委員会、釧路森林資源活用円卓会議、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター、産学融合創出エリア「チャレンジフィールド北海道」、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所、国立研究開発法人水産研究・教育機構、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、北海道プライムバイオコミュニティ、「知」の集積と活用の場®産学官連携協議会、一般社団法人北海道バイオ工業会

## プログラム

13:00 - 13:05	開会挨拶・趣旨説明	国立研究開発法人産業技術総合研究所 北海道センター所長 鈴木馨
13:05 - 13:45	特別講演 / スマート林業技術における産総研への期待	北海道下川町 産業振興課林業振興グループ 林業振興係長 斎藤丈寛氏
13:45 - 14:05	森林情報デジタルツインプラットフォームの構築	国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 総括研究主幹 中村良介
14:05 - 14:25	生鮮水産物の鮮度評価における新しい迅速測定法の開発と応用	国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 主任研究員 小島直
14:25 - 14:45	抗酸化物質による環境に優しい病害虫防御	国立研究開発法人産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 研究グループ長 菊池義智
14:45 - 15:05	ご紹介 / 地域企業への支援～釧路工業技術センターの活動について～	公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター 専務理事 草刈敏夫氏
15:05 - 15:50	《ポスターセッション》	
15:50 - 16:20	特別講演 / 酪農のイノベーションって何かな？	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部 酪農試験場 場長 杉本昌仁氏
16:20 - 16:40	空気中のウイルス検出による畜産現場の健全性・リスクの見える化	国立研究開発法人産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター 総括研究主幹 福田隆史
16:40 - 17:00	バイオリソース解析プラットフォームの活用—マリモと暮らす微生物の解析を例にして	国立研究開発法人産業技術総合研究所 生命工学領域 連携推進室 連携主幹 中井亮佑
17:00 - 17:10	北海道産業への貢献にむけて—生物プロセス研究部門の紹介と展開—	国立研究開発法人産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 研究部門長 油谷幸代
17:10 - 17:15	閉会挨拶	国立研究開発法人産業技術総合研究所 副理事長 村山宣光

## ポスターセッション

### 産業技術総合研究所

- |  |               |
|--|---------------|
| ■複合微生物機能を活用した環境調和型の廃水・廃棄物処理プロセスの創出                                     | 生命工学領域        |
| ■「JST COINEXT “コメどころ”新潟地域共創による資源完全循環型バイオコミュニティ拠点」におけるイネ栽培試験の微生物叢解析     | 生命工学領域        |
| ■ジャガイモシストセンチュウ孵化促進物質の大量生産系構築に向けた取り組み                                   | 生命工学領域        |
| ■オール産総研技術によるバイオ炭農業エコノミーの創生   | エネルギー・環境領域    |
| ■病原菌を捕食する粘液細菌に着目した新規微生物農薬候補の探索   | 生命工学領域        |
| ■腸内細菌を利用したアワビの成長促進技術   | 生命工学領域        |
| ■核内受容体をターゲットとした農林水産物・食品の機能性解析  | 生命工学領域        |
| ■抗酸化物質による環境に優しい病害虫防御   | 生命工学領域        |
| ■植物、魚類、微生物などの様々な生物からの不凍タンパク質の探索、評価と応用                                  | 生命工学領域        |
| ■最新分子育種技術で北海道の農林業に貢献したい！   | 生命工学領域        |
| ■木材の3次元成形加工と化学修飾による撥水化   | 材料・化学領域       |
| ■施設園芸における除湿・加温システム（ハスクレイ）  | 地質調査総合センター    |
| ■牛の繁殖性を改善する凍結精液の大量生産技術   | エレクトロニクス・製造領域 |
| ■フンを用いた魚の健康・病気診断法の開発   | 生命工学領域        |
| ■長岡・産総研生物資源循環ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ（BIL）の取り組み：有機廃棄物を含む生物資源の資源循環で地域経済活性化に貢献 | 生命工学領域        |
|  | ほか            |

### 産業技術総合研究所以外の研究機関等

※詳細は下記URL、QRコードからご確認ください

地方独立行政法人北海道立総合研究機構、公益財団法人北海道科学技術総合振興センターなどから10件展示

## お申し込み・お問い合わせ

事前参加登録をお願いします。（定員110名先着順）  
(お申し込み締め切り：2024年10月17日)

下記URLまたは右のQRコードからお申し込みください。

URL <https://www.aist.go.jp/hokkaido/>

※ライブ配信、アーカイブ配信は行いません。



国立研究開発法人産業技術総合研究所  
北海道センター産学官連携推進室  
シンポジウム事務局

TEL 011-857-8400 (代表)  
E-mail tbf-hokkaido-ml@aist.go.jp